

三三〇三番

里人さとびとの 我われに告つぐらく 汝なが恋こふる 愛うるはし夫づまは
 もみち葉はの 散ちりまがひたる 神奈備かむなびの この山やま
 辺へから ぬばたまの 黒馬くろまに乘のりて 川かはの瀬せを
 七瀬渡ななせわたりて うらぶれて 夫つまは逢あひきと 人ひとそ告つ
 げつる

反歌はんか

三三〇四番

聞きかずして 黙もだもあらしを なにしかも 君きみが
 ただかを 人ひとの告つげつる